

# Beauto ロボコン ルール規定

2009年1月13日 第一稿

## 1. 競技概要

黒色のラインに沿ってロボットを走行させ、ゴールまでのタイムを競う競技

## 2. 参加資格

不問、ただし中学生以下は保護者同伴のこと

## 3. ロボットレギュレーション

- 1) CPU ボード「VS-WRC」シリーズを使用していること
- 2) ロボットは水平に置いた(走行が可能な)状態で直径 220mm の円筒に収まること
- 3) ロボットの最大高さは、水平に置いた状態で 100mm 以内とする
- 4) モーターを使用する場合はマブチ FA-130 モーターを使用すること
- 5) 何らかのセンサを内蔵し、自律的にコースを走行可能であること
- 6) いかなる種類のリモートコントロールも使用してはならない

## 4. コース

- 1) コースは床面もしくは机などの上に置かれたリノリウムの上(最大 2m x 2m)に構成され、リノリウムの上にコースライン(黒色の絶縁ビニールテープ(幅 19mm 前後))を引く。
- 2) 隣接しないコースライン同士は、互いに 200mm 以上離して配置される。
- 3) コースラインは互いに交わることはない。
- 4) 長さ 100mm 程度のスタートライン(青色絶縁テープ)とゴールライン(赤色絶縁テープ)が一箇所ずつ、コースラインに垂直に配置される。
- 5) コースは競技開始まで公開しない。

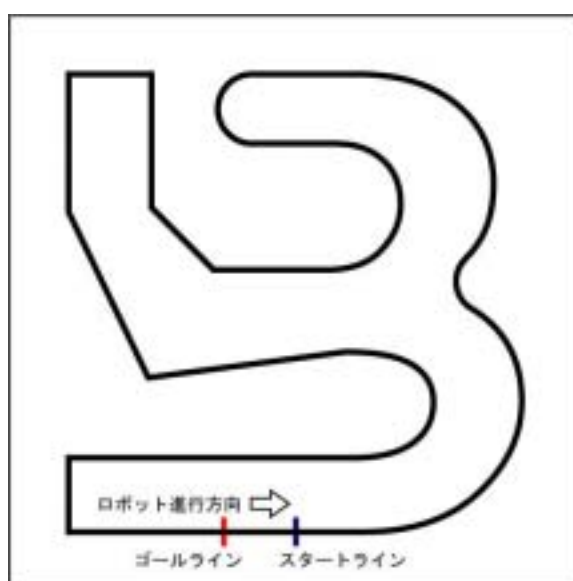


図: コースの例

## 5. 競技について

### 5-1. ロボットのオンライン・オフラインについて

- 1) ロボットを真上から見て、ロボットとラインが重なっている場合、ロボットはラインに対してオンラインである、とする。
- 2) ロボットを真上から見て、ロボットとラインが重なっていない場合、ロボットはラインに対してオフラインである、とする。

### 5-2. 計測

- 1) タイムの計測は審判の合図と共に開始される。
- 2) 開始の合図があるまで、ロボットは進行方向に向かってスタートラインより後ろ側で、完全にオフラインの状態待機することとする。
- 3) 参加者は開始の合図の後、ロボットをスタートさせるために一度だけ、ロボットに触れることが出来る。
- 4) ロボットはコースラインに対しオンラインのまま進行し、ゴールラインとオンラインになるまでの時間を計測する。

### 5-3. 計測の中止

以下の場合、計測を中止する。

- 1) ロボットが動作を開始した後に、参加者がロボットに触れた場合
- 2) ロボットがコースラインに対してオフラインになった場合
- 3) ロボットが現在地以外のコースラインに触れた場合
- 4) ロボットが 20 秒以上不動であった場合
- 5) 参加者から中止の要請があった場合
- 6) その他、審判が必要と判断した場合

### 5-4. 競技時間

- 1) 競技時間は 5 分間とし、その時間内であれば何度でもタイム計測ができる。
- 2) タイムを計測する場合はかならず審判に申請する。
- 3) 審判が申請を受理しない場合の記録はすべて無効とする。
- 4) 5 分が経過した時点で計測が終わっている記録のみを有効とする。